

心ふれあう、あったかホームステイ

滋賀県日野町 農村生活体験

- ホームステイ受け入れに日野町全体で取り組んでいます。
- 受入家庭も、体験学習について学んでいます。
- 「その家の家族」として、あたたかく迎えます。
- ありのままの暮らしを、受入家族と一緒に体験します。
- 田舎体験を超えた「心の交流」を最大の目的としています。



三方よし！ 近江日野田舎体験推進協議会





受入家庭事前研修

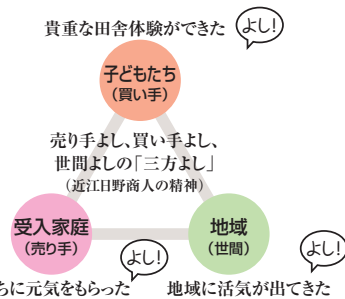
農村生活体験で、今こそ心の交流を。 日野町は「三方よし!」の精神で 教育旅行ホームステイに取り組んでいます。

近江日野田舎体験の特色

私たちがめざす「近江日野田舎体験」とは、日野町にある豊かな自然、農林商工業、生活文化等の生業、さらには、ここで暮らす人々の本来の姿を知ってもらい、ホストファミリー（受入家庭）の生き様や誇りを、体験者である子どもたちに伝える人間教育だと考えています。

ホームステイ先は農家に限らず、非農家や町家もありますが、「共通体験を通じた交流」を最大の目的としています。事前に研修を受けたホストファミリーが、各家庭の仕事や生活に合わせた体験プログラムでインストラクターの役割を担いながら、子どもたちとの心のふれあいを深めていきます。

私たちは、近江日野商人の「三方よし!」の精神にならい、体験者である子どもたちの学習成果とともに、ホストファミリーや地域社会の活性化にもつながる取り組みとして、町全体でホームステイを推進しています。子どもたちに元気もらった 地域に活気が出てきた



ホームステイ受け入れまでの流れ

- ①実施日の決定
 - ②学校から生徒のグループリストとアレルギー情報提出
 - ③受入家庭とのマッチング（当協議会が行います）
 - ④学校へ受入家庭マッチング表を提出
 - ⑤受入当日
- 受入人数は1軒4名が基本。最大150軒（600名）の1泊から2泊のホームステイが可能です。
 - 事前説明や交流を希望される場合は、当協議会事務局までお問い合わせください。



体験プログラム例

農村生活体験は、ホームステイする各家庭の仕事や生活をもとにした「家業おまかせプラン」となります。数軒が一緒に体験をすることもあります。季節や天候によって体験内容は変わります。

●田植え



●畑作業



●苗箱洗い



●茶摘



●鮎寿司漬け



●よもぎ餅作り



●牛の餌やり



●干びょうむき



●田んぼの補植作業



●収穫作業



●稲刈り



●わら縄作り



●割り木作業



●女将体験



農村生活体験を終えて（体験者の声）

たくさんのふれあいを、ありがとう。

中学校教諭（学年主任）

今回の修学旅行で何よりも素晴らしかったのは、生徒たちと受入家庭の方々との交流の過程で、「事前のふれあい」をたくさんさせていただいたことです。

手紙や写真、電話での事前のやりとりで、会う前からふれあうことができていた、その成果を初日から見ることができて、私はうれしくて仕方ありませんでした。

帰ってからの打合せで、校長先生が「日野町の田舎体験はよかった。次の学年も日野町へ修学旅行に行けるとよいね」と職員の前で話してくださいました。長年思い描いてきた「理想とするふれあい」ができたと思っています。

人のぬくもりが分かった

中学2年生（男子）



日野町の皆さんとの最後の握手のときは、ほんの24時間しかここにいなかったのに、胸の奥がギュッときて、鼻がつーンとして、目は相手を見られないほどだった。握手をしながら、走馬燈のようにこの24時間のことを思い出していた。この田舎体験で分かったことは、人のぬくもりだった。ほんの瞬間の関わりでも、こんなにぬくもりを感じるんだから、今度からは進んで人との関わりをつくっていこうと思った。

田舎にしかない楽しみ方

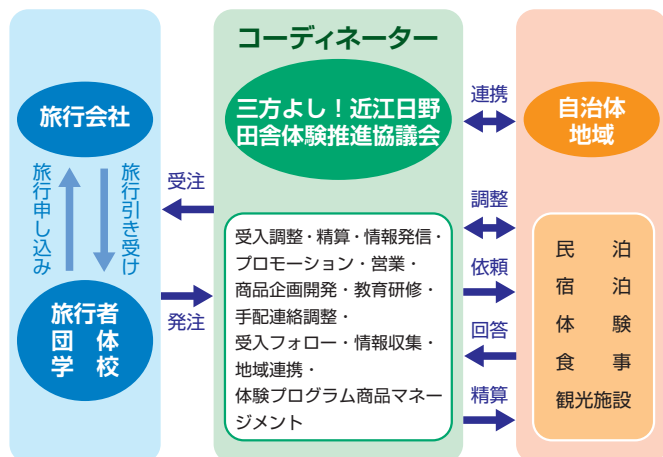
中学2年生（女子）

約24時間の体験で何ができるのだろう?と思っていたけど、野菜の収穫や料理、近所の散歩や昔の遊びなど、考えていた以上にいろんな体験をさせてもらいました。そういうことをやっているときに、田舎にしかない楽しみ方って山ほどあるなあと思いました。体験以外にも、日野町の方々の優しさや温かさを感じることができて、本当にうれしかったです。





農村生活体験の受入体制



農村生活体験の緊急連絡体制



日野町の概要

日野町は滋賀県の南東部、鈴鹿山系の西麓に位置し、東西14.5km、南北12.3km、総面積は117.63km²、人口は約23,000人、世帯数は約7,800世帯の田園都市です。霊峰・綿向山を東に望む町は、豊かな自然環境に恵まれ、初夏には町の花「ほんしやくなげ」が山麓を彩ります。また漬物などで有名な「日野菜」は当町が原産で、さくら漬けとも呼ばれて親しまれています。



日野菜

日野町の歴史は古く、室町時代、町の繁栄の基礎を築いた蒲生氏は400年以上この地を治め、商工業の保護・育成に努力し、鉄砲や鞍などを特産品として生み出しました。その蒲生一族の中で、今も日野の人々の心に生きているのが蒲生氏郷公です。織田信長の娘冬姫を妻とし、その後豊臣秀吉に従った氏郷は産業政策

においても秀でており、日野に楽市楽座を開き、その後松坂12万石、会津92万石の藩主となりました。

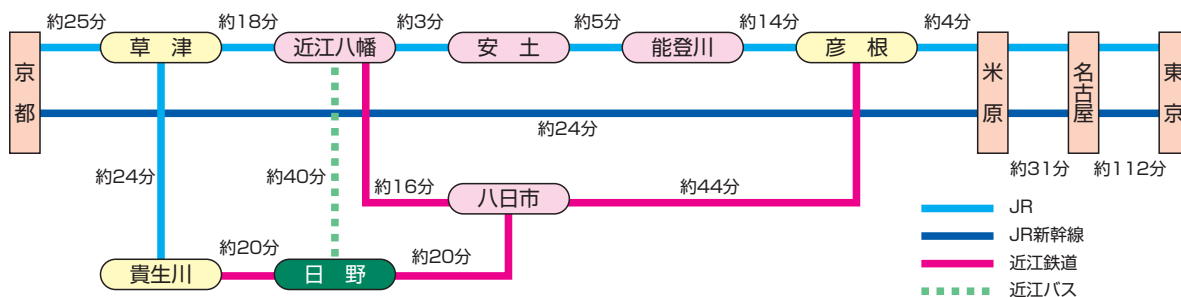
江戸時代に入り、漆器や薬売りの行商から栄えた日野の商人は、有名な「近江商人」の基礎を確立し、日野はその本家の町として繁栄し、北関東に商圏を伸ばしながら「近江日野商人」の名を全国にとどろかせました。その後、明治22年に町村制を敷き、昭和30年に近隣の6カ村と合併し現在の行政区となりました。

- 主な特産品: 「近江日野米」「近江日野牛」「日野菜」「でっちゃんかん」など。
- 主な祭: 「南山王祭 (4月4日)」「日野祭 (5月2日、3日)」「火祭り (8月14日・15日)」「国指定無形民俗文化財 近江中山の芋競べ祭り (9月1日)」など。



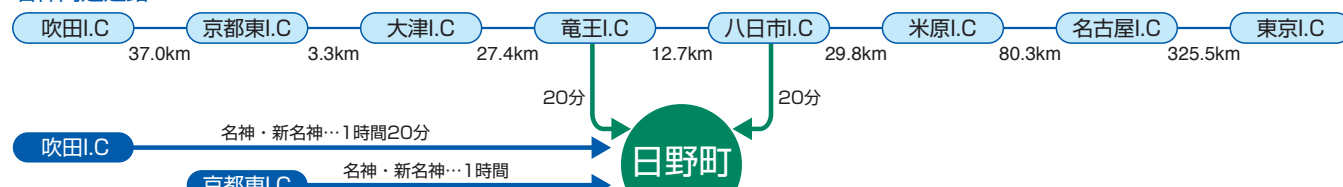
日野祭の曳山

公共交通機関でのアクセス



車でアクセス

名神高速道路



三方よし！近江日野田舎体験推進協議会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原 1-1 TEL.0748-52-6562 FAX.0748-52-2043
Eメール: kankou@town.shiga-hino.lg.jp ホームページ: <http://www.town.shiga-hino.lg.jp/>